

## 平成 27 年度「市民による事業評価・提案会」評価・提案内容

### 1 日目 評価・提案テーマ 健康・長寿

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
<p><b>○はつらつ鶴寿大学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間 23 講座とあり、参加者が少なく、募集を行うとしているが、どのような講座が人気なのか。また、講師はどのような方がやっているか。文大生が関われば良いと思う。</li> <li>⇒高齢者対象事業なので、生徒として学生が参加することはできないが、このほかにも公民館学級などを行っている。こうした部分で既に学生には関わってもらっている。まちづくり交流センターに大学のサテライト等があるため、協力して事業展開をしている。スタッフとして学生に関わってもらうことは可能であるので今後取り入れていきたい。ものづくり分野が人気なのでそちらでも取り入れていきたい。</li> <li>・鶴寿大学は無料か。</li> <li>⇒入学に 1,000 円かかる。500 円は保険代、500 円は資料代等。</li> <li>⇒興味が非常にある。自分もはやく 60 歳になって参加したい。</li> </ul> <p><b>○高齢者の健康づくり・介護予防事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に渡された資料と今の発表で数字の違いがあるように思う。どういうことなのか。</li> <li>⇒事業内容が入り組んでおり、年度にまたがるものがあつた場合に、違いが出てきてしまう場合がある。ご了承願いたい。</li> <li>・高齢者向け事業を行っているが、交通機関等を活用して事業実施地へ行っているのか。</li> <li>⇒一次予防、二次予防事業に対しては、送迎のタクシーを活用している。しかし、対象者全員をタクシー送迎することが良いというものではないので、地域で行う居場所づくりやサロン等は、歩いて行ける場所で実施している。</li> <li>・虚弱判定とはどういった基準か。</li> </ul>	<p><b>○はつらつ鶴寿大学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもいい取り組みだが、受講者が少ないことは残念である。名称も古い。</li> <li>・CCRCとの連携に向けた取り組みをどう考えているか。</li> <li>・年間 1,000 円程度で受講可能ということは魅力的。今後さらに内容を充実していくということなので期待している。</li> </ul> <p><b>○高齢者の健康づくり・介護予防事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が少ないことに対し、引きこもりが心配。</li> <li>・独居老人がどこにどの程度居住しているか、正確な把握が必要。</li> <li>・タクシー送迎もあり、測定結果が実際に向上していることは評価できる。今後の地域サロンや公民館等の身近な場所で、専門家による運動教室が開催されることは良い取り組みだと思う。</li> <li>・二次予防者の運動機能比較など、事業を評価する取り組みもされており感銘を受けた。</li> </ul> <p><b>○各種健康診査・相談事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見、早期治療については検診が重要であるが、本来取り組むべきことは生活習慣病の予防、食生活の改善ではないか。</li> <li>・受診率が低い子宮がん、乳がんに関して、受診機会の充実を図ることは評価できる。</li> </ul> <p><b>○全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿向けの施策に偏っていて、健康増進への施策が不明瞭である。</li> <li>・全市民が健康について興味を持つように啓発し続けることが大切。</li> </ul>	<p><b>○はつらつ鶴寿大学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はつらつ鶴寿大学を卒業した方を講師として招くことはどうか。</li> <li>⇒放課後子ども教室や、学童保育等で地域の方に講師となつていただく取組を行っている。若い世代の方は働いている時間帯なので、ものづくりや生け花など高齢者の方が関わる人が多い。こうした部分で事業をつなげて取り組んでいければ良いと思う。現状でも協力をいただいている。</li> <li>・はつらつ鶴寿大学には活動的な高齢者も多いと思うので、ファミリー・サポート・センターなどの部分でも部課横断的に協力をしてもらえれば良いのではないかと。</li> <li>⇒他課事業とも連携ができるように取り組んでいければと思う。</li> <li>・講座もさることながら、魅力ある講師の発掘も重要。学生に講座を受け持ってもらうことも有効。</li> <li>・団塊の世代が参加したくなる名称に変更してみてもどうか。</li> <li>・元気なシニアには、講師としても活躍してもらいたい。有用感が生き甲斐につながる。</li> </ul> <p><b>○高齢者の健康づくり・介護予防事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の健康づくりに関して、父も体操教室を活用しているが、大変楽しみにしている。しかし、広がらないということは、周知が足りないのではないかと。これから CCRC をはじめたとした取組を進めるにあたって、いろいろな部署の情報発信を横断的に進められるような取組をしていくべき。特に高齢者向けに。</li> </ul>

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
<p>⇒25 項目のチェック項目で行う。3 か月ほどの調査期間を設け、判定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己判定か。</li> </ul> <p>⇒コンピュータで行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予防事業の運動講座などは、年間を通して通うのか。そうであれば、数的に結果などが出ているか。</li> </ul> <p>⇒週に1回3 か月が1クールとなっている。体力測定やアンケートを行い、評価をしている。主観的な評価も判定に取り入れ、9割は維持もしくは向上傾向にあったという自己評価をいただいている。しかしながら、一次予防については単発的に行っているため、評価が難しい。短期的な評価については、生活状況調査（早稲田大学協力）を活用して行っていく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加率が低いながらも、良い結果が出ているのであれば、周知をして、参加を促進するなどの取り組みをしたらどうか。</li> </ul> <p>⇒情報提供は不足していると思う。広報等では伝えることもあるが、今度は多くの方に伝えられる取組を行いたい。周知方法についても意見をいただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的健康に合わせて、心の健康にも留意していきたい。居場所づくりが前進するように、市民も協力していきたい。</li> <li>・各事業で重複している部分が多すぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文大生や地域の小中学校に昔の暮らしなど聴く機会に併せて調査活動などができればいいのではないかと。引きこもりの防止にもなる。</li> </ul> <p>⇒高齢者が外出するには、「きっかけ」が必要になると思う。誘うことで外出する方もいる。こうしたことから、学生などが活動していくことは今後検討の材料になると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の話を聞く部分を拡大するなどして、学生が関わればいいと思う。</li> <li>・畑を一緒にやることもいいかもしれない。外出のきっかけ作りなり交流につながる。</li> <li>・気軽に出かけたくるように、学生と共に聞き取り調査（昔の暮らしの話など）を行い、信頼関係を築き上げる。実態把握にも役立つ。自治会レベルでの声掛けも重要。</li> <li>・本人だけでなく家族の理解も重要である。また、独居老人であっても、離れて暮らす家族も気にかけているはずなので、出来るだけ連携をとり、帰郷などに一緒に面接、指導がすることが望ましい。大変な手間ではあるが、効果はある。</li> <li>・引きこもっている人が外出しやすいように、自治会館などで頻りに催しを行う。学生や子どもにも参加してもらい、高齢者だけで固まらない多世代の催しができないか。</li> </ul> <p><b>○各種健康診査・相談事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査について、申し込んだが、定員になっていた。自分で時間を見つけて受診するとなると、なかなかいけない。日時指定等をしてもらうよう促せば、受診者も増加するような気がする。</li> </ul> <p>⇒乳がん検診については、3パターン用意しており、期間を設けて実施している。申し込みを行い、いきいきプラザで行うものと、市立病院で行うもの、また、新たな試みでレディース検診として2日間設けて行うものを実施してい</p>

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
		<p>る。大変人気で、来年度からは拡充を考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断の前段階の施策が必要。食生活の改善で、長寿日本一になった長野県のような地道な草の根運動が求められる。(1980年代から、厚生労働省の指定する研修を終えた「食生活改善推進員」が各家庭を回った。) 「健康長寿」を実現させ、医療費の抑制につなげたい。</li> <li>・ダイレクトメールの発送数に対して、どのくらいの割合で参加につながっているのか把握したうえで、さらに効果的な周知方法を検討する必要がある。</li> </ul> <p><b>○全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康、長寿というと、高齢者向けのイメージがあるが、若い世代向けの楽しい健康づくりの事業があればいいと思う。ヨガや様々なセラピーなど楽しい取組がほしい。健康の維持と合わせて都留市のPRになるかと思う。</li> <li>・高尾町に住んでいるが、高齢化が進んでいることを感じる。高齢者向け取組が進むことを望む。理学療法士などが入る取組をすすめたらいいと思う。</li> <li>・ヨガや瞑想などの各種セラピーの講座を市主導で実施してみてもどうか。ただ集まって、楽しんで帰るだけではなく、そこに集まった人達が関わりあう仕組みを作って、市民同士が交流する場を作る。その積み重ねが「都留市がなんとなく好き」につながると思う。自身の体験としてわかっていることは、「全ての人ではないが、多くの人、ほとんどの人が、その場でのインプット(セミナーのテーマに関する学び)だけではなく、何かしらのアウトプットの機会があるとセミナー自体の満足度が上がる」ということ。市の事業にも取り入れることができれば、新たな発見や、次につながる取組みになる。</li> <li>・子どもからお年寄りまで憩える場所として、遊具や健康器具、ウォーキングコースなどが整備された公園がほしい。</li> </ul>

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
		<ul style="list-style-type: none"><li>・市の組織の問題ではあるが、横の繋がりが弱いため悪循環となっている。部署ごとのつながりを密にして、事業をブラッシュアップしてほしい。</li><li>・受診率の向上やC C R Cの推進に向けては、市立病院の医師不足は問題。テーマとずれる部分はあるが、子育て面でも産科分娩の再開を含め、市立病院の改善は早急に取り組むべき。</li></ul>